

国債の決済期間の短縮化に関する検討ワーキング・グループ（第31回）

平成26年2月14日（金）午後4時
日本証券業協会 第1会議室

議 題

1. 国債の決済期間短縮化に関するアンケート結果について
2. その他

以 上

グランドデザイン作成へ向けた作業のイメージ

1. アウトライト、S Cレポ取引のT + 1化

<検討方針>

外部コンサルティング（野村総合研究所）による、2013年11月に実施したアンケート等を踏まえた分析やT + 1化実現の鍵となるソリューションをもとに、WGで検討する。

- 市場共通タイムスケジュールの変更
 - ✓ モデルタイムスケジュールについて検討する（今回。第32回以降も引き続き検討）。
- ポスト・トレード業務の効率化
 - ✓ グランドデザインの中で、個社が対応すべき点と市場全体で対応すべき点について整理し、T + 1化へ向けた対応策を提示する（第32回以降に検討）。

2. G Cレポ取引のT + 0化

<検討方針>

検討会やタスクフォースでの議論や、外部コンサルティングによる市場参加者のシステムへの影響に関する分析等をもとに、WGで検討する。

(1) 後決め方式G Cレポ取引手法検討会（フロント検討会）

- 以下の論点にかかる検討を踏まえ、担保管理インフラの機能範囲と後決めG Cレポ市場（T + 0）の機能の方向性を示す。
 - ✓ ターム物取引の取扱い（第9、10、11回。第12回以降も引き続き検討）。
 - ✓ 取引形態のあり方（第10、11回。第12回以降も引き続き検討）。
 - ✓ 非CCP利用取引の取扱い（第12回以降に検討）。

(2) 担保管理インフラ検討会（バック検討会）

- 担保管理サービス業務の基本機能について検討を行い、市場インフラに求める基本機能を示す。
 - ✓ タイムスケジュール
 - ✓ 割当対象銘柄の特定方法
 - ✓ 銘柄の割当方法
 - ✓ 割当後の決済方法
 - ✓ 割当不能やフェイル時の取扱い
 - ✓ 取引に係るデータの種類やインターフェイス、等

3. グランドデザイン作成に向けた作業

(1) 外部コンサルティングによる提言

- 次回以降のWGにおいて、コンサル提言のドラフトをもとに意見交換を行う（3月中）。

(2) グランドデザイン（暫定版）のドラフト作成（3月～）

- 外部コンサルの提言をベースにグランドデザイン（暫定版）を作成する。
 - ✓ 検討会や外部コンサル提言をもとに、WGとして市場慣行の策定、市場インフラ整備の方針について合意形成を行う。
 - ✓ また、WG以外の検討体も含めて議論すべき点や、関係当局、市場インフラとの検討が必要な点を明確にし、グランドデザイン（確定版）作成へ向けた論点を整理する。

以 上

(参 考)

検討会等の開催概要

<担保管理インフラ検討会>

○第13回（平成26年1月17日（金））

第30回WG（平成25年1月9日）で示されたGCレポT+0化対応に係る市場参加者のシステムへの影響について説明があった。

担保管理インフラの担い手候補である日本証券クリアリング機構より、第12回（平成25年12月16日）に引き続き、以下の点について説明があり、検討を行った。

- 担保管理インフラにおける割当限度管理について
- 銘柄割当不能及びフェイルの場合の取扱いについて

○第14回（平成26年1月31日（金））

第13回同様に、日本証券クリアリング機構より、以下の点について説明があり、検討を行った。

- 担保管理インフラにおける割当限度管理について
- 銘柄割当不能及びフェイルの場合の取扱いについて
- 銘柄後決めレポ取引に係るデータの種別及びインターフェイスについて

<後決め方式GCレポ取引手法検討会>

○第11回（平成26年1月23日（木））

以下の点について意見交換を行った。

- 新現先／現担レポ取引に関する論点
- T+1化後のターム物GCレポ取引に関する論点

<信託財産に係るレポ取引手法タスクフォース>

○第3回（平成26年1月17日（金））

資産管理系信託銀行を中心に、以下の点について意見交換を行った。

- 担保管理サービスにおける割当口座及び残高確認方式について
- 銘柄後決めレポ取引において想定される割当数量の決定方法について

以 上